

ひと 市民輝くこまえ

第8号 2017年5月

発行：豊かな狛江をつくる市民の会

〒201-0014 狛江市東和泉 2-20-12-103

電話& Fax：03-3488-3981

e-mail：shiseiken@yutakanakai.clean.to

web：http://yutakanakai.clean.to/

市民派都議予定候補として、いび匡利さんを推薦・支援

「豊かな狛江をつくる市民の会」は次の見解を公表しました。

3月27日 豊かな狛江をつくる市民の会臨時総会で決定



私たち・豊かな会の「切なるねがい」

市民本位の狛江市政の実現、

安倍政権の暴走政治ストップ

豊かな狛江をつくる市民の会（以下、豊かな会）は、21年前から一貫して『市民本位の狛江市政』の実現に向けて運動を進めています。私たち、豊かな会がめざす『市民本位の狛江市政』の基本方向は、裏面にありますように「①憲法を守り、くらしに活かす市政」を始めとした11項目です。そして、憲法違反の戦争法（安保法制）の強行採決・施行、現代の治安維持法Ⅱ共謀罪法案上程など、暴走政治を続ける安倍政権にストップをかけるため、市民派議員を地元で

ある調布・狛江から都議会に送り出した、これが都議選に向けた豊かな会の「切なるねがい」です。

尾崎大介さん（民進党）といび匡利さん（日本共産党）に要請

3月27日現在、北多摩3区（調布・狛江）の立候補予定者は4人。自民党、公明党の両方が「安倍政権打倒」に同意する筈はないため、3月初め、尾崎大介さん（民進党・後に離党）といび匡利さん（日本共産党）のお二人に、私たちの「切なるねがい」を理解していただき、その実現に向けて可能な範囲で都議会議員として努力していただく確認文書を交わしたい旨の要請をおこないました。

残念ながら、尾崎大介さんから回答をいただけませんでした。

いび匡利さんからは承諾する旨の回答をいただき、確認文書を交わすことができました。しかし、尾崎大介さんからは、3月27日の豊かな会臨時総会を前に再三、事務所に

催促をさせていただきましたが、残念ながら回答をいただくことができませんでした。

臨時総会で市民派都議予定候補としていび匡利さんを推薦・支援することを決定しました



3月27日、豊かな会の臨時総会を開催し、上記の経過を受け、いび匡利さんを市民派都議予定候補として推薦・支援することを決定しました。豊かな会は、いび匡利予定候補側からの要請に最大限応え、その力量の範囲で全力を取り込むことを確認しました。尾崎大介さんからは回答をいただけませんでした。市民本位の狛江市政の実現、安倍政権の暴走政治ストップのため、都議会議員として活躍されることを期待したいとの意見が出されました。

都政を語ろう！駅前リレースピーチ

東京、そして都政について、市民の皆さんの“思い”や“ねがい”、あるいは提案・要求などをスピーチしてもらいます。

もちろん、飛び入り大歓迎です。ぜひおいで下さい。いび匡利さんのスピーチもあります。

狛江駅北口前（雨天決行）

6月 3日（土）午後2時～3時半

6月11日（日）午後2時～3時半

6月16日（金）午後5時～6時半

いび匡利さんはこんな人

福岡県田川市生まれ。実家は酒屋さん

いび匡利さんは福岡県田川市、かつて炭鉱で栄えた筑豊の出身です。実家は酒屋を営み、大晦日は除夜の鐘が鳴るまで手伝いました。次第に過疎が進み、紅白歌合戦を最初から見られるほど仕事が減り、子どもながらに時代の移り変わりや仕事の厳しさを感じました。

農工大に進学、新聞奨学生、



自治会委員長に

いび匡利さんは、府中市にある東京農工大学に進学。実家に苦労をかけまいと新聞奨学生に。同僚の予備校生が、試験があるのに休みがとれなかつたりする姿に強く矛盾を感じました。学生自治会の委員長を務め、学費値上げストップなど要求実現運動の先頭に立ちました。原水爆禁止世界大会にも参加、環境破壊や戦争など、様々な問題の根本に政治があることを知り、「政治を変えるしかない」と決意し日本共産党に入党しました。

市民とともに市議5期18年、命と暮らし、平和をまもる運動の先頭に

いび匡利さん

は、1995年の調布市議選で初当選。PTAや学童クラブ父母会、学校開放などの役員をつとめ、防災訓練、地域運動会など地域のみなさんと一緒にとりくんできました。

そして、「暮らしを守る力になりたい」をモットーに、2008年のリーマンショック後、高速道路ガード下で寝泊まりする人を訪ね歩いて実情を聴き、生活再建を支援したり、負担の重い国保税の軽減にとりくんできました。

ゴミ減量にもとりくみ、プラスチックの分別収集を実現、原発事故後の市民運動の広がりの中、自然エネルギー利用を促進、34カ所の公共施設での太陽光発電が実現しました。

いび匡利さんは、この18年間、早朝から駅頭に立ち、地域の課題から国政までとりあげた「いび通信」を配りつづけてきました。いま暮らしを守る都政へ全力をあげています。

わたしの決意

早朝から駅に立ち、通勤するみなさんに自分の活動報告を配りながら、こうして働いている人が報われる世の中にしていきたいと決意を強くしてきました。

の豊洲移転に6千億円、巨額なオリンピック予算と大型開発ー日本共産党は、こうした

浪費と利権にメスを入れ、暮らしと福祉第一の都政への転換を一貫して求めてきました。都政の前の向きの変化を、絶対に後退させるわけにはいきません。都議会自民党、公明党の抵抗を打ち破り、都政改革に全力でとりくむ決意です。

調布市議として5期18年、その活動のなかで寄せられた、介護や貧困、子育てなどの市民の切実な声を都政に届け、誰もが安心して住み続けられる町、狛江・調布をつくりたい。狛江・調布の豊かな水と緑を活かしたまちづくりを都政から支援する

仕事に全力でとりくみます。

国政では、安倍首相が2020年までに憲法9条を変えることを明言、反対する国民の声を押さえつける共謀罪法案を強行しようとしています。都議会議員選挙では、戦争する国づくりを「ノー！」の審判をくだそうではありませんか。みなさまのご支援を心からお願いいたします。

日本共産党調布・狛江都政対策責任者 いび匡利（井樋まさとし）

豊かな会がめざす市民本位の狛江市政の基本方向

- ① 憲法を守り、くらしに活かす市政
- ② 市民と共に悩み、考え、行動する市政
- ③ 特定の階層やグループ、あるいは一党一派にかたよらず、市民の生活と生産と労働を擁護し、市民全体の福祉を追求する市政
- ④ 『まち』の主人公が市民であることをふまえ、あらゆる市政領域で『市民参加』を大胆に広げる。中央集権に反対し、地方自治を守り育て、住民自治に基礎づけられた市政
- ⑤ 利権や特権を排除し、ガラス張りで見えぬことのない、市民全体の理解と合意を前提とした、そして計画的な展開を進める市政
- ⑥ 市役所職員が、市民に奉仕する専門家としての主体性と誇りをもって、そして市民と手を携えて効率的に行政執行にあたる市政
- ⑦ 平和こそ市民生活の基礎であることをふまえ、反戦・平和の『わがまち』ー狛江を、そし

- ⑧ 世界の実現に努める市政
- ⑨ 開発優先から市民生活優先への転換、自然と共存する『まちづくり』を、市民の合意と納得、市民参加によって進める市政
- ⑩ 子どもたちの一人ひとりが大切にされ、共に育ち合っていく学校、保育園、地域をつくりだしていく。おとしよりが心から「狛江に住んでよかった」と言え、「ハンディ」をもった市民が安心してくらせる、市民福祉第一、共に生き合う『まちづくり』を推進する市政
- ⑪ 人間性を奪い去るあらゆる差別に反対し、社会矛盾の下で弱い立場に追いやられている市民のために頼りになる市政
- ⑫ 大震災・原発事故を受けて、実践的防災・減災対策を確立し、原発に頼らない地域社会をめざす市政

止めよう！ 辺野古埋立て 共謀罪法案は廃案に！

6.10 国会大包围

とき 2017年 6月10日(土) 14:00~15:30

場所 国会周辺 (4つのエリアでリレートーク) ※自前のプラカード大歓迎!



いまこそ、気持ちをひとつに集まりましょう!

主催：基地の県内移設に反対する県民会議
「止めよう！ 辺野古 埋立て」国会包围実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
協賛：共謀罪NO！実行委員会

狛江からも参加しましょう！
午後1時までに狛江駅改札前にお集まりください！